

自動車関連技術講演会

—自動車軽量化-最新の動向—

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて自動車関連技術の特別講演会を開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

◆日時：平成31年2月18日（月）13：30～17：00

◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室

（名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階）

◆定員：35名

◆参加：無料

「参加申込書」をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、ご所属、連絡先（Eメールアドレス及び電話番号）を明記の上、協会事務局アドレスへ送信下さい。

■ プログラム

—13:30～14:15

「マグネシウム合金を用いた輸送器機の軽量化」

千野 靖正（産業技術総合研究所 構造材料研究部門 軽量金属設計グループ）

【概要】マグネシウム合金は実用金属の中で最も軽量であり、また優れた比強度を有することから、各種情報機器や輸送機器のための新たな構造材料として注目されている。本発表では、輸送機器（自動車、鉄道等）に適用されている各種マグネシウム合金の特性や、輸送器機にマグネシウム合金を適用するための研究開発事例について紹介を行う。

—14:15～15:00

「炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の自動車構造材への適用」

荒井 政大（名古屋大学 工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授）

【概要】名古屋大学ナショナルコンポジットセンターでは、熱可塑性樹脂をマトリクスとする炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の自動車構造材への応用を進めている。本発表では当該プロジェクトの研究成果を中心に紹介するとともに、CFRPを自動車に適用する際の将来的な課題について述べる。

—15:00～15:15 —休 憩—

—15:15～16:00

「セルロースナノファイバーを用いた軽量化」

矢野 浩之（京都大学 生存圏研究所 教授）

【概要】セルロースナノファイバー(CNF)は、パルプやセルロース繊維をナノオーダーにまで微細化することで得られる持続型植物資源由来の繊維材料である。軽量、高強度、低熱膨張、高比表面積などの特徴があり、自動車や電子機器、医療、化粧品、食品など幅広い用途について世界中で研究開発が活発化している。本講演ではセルロースナノファイバーによる樹脂補強について紹介する。

—16:00～16:45

「ポリカーボネート樹脂グレージングにおけるハードコートのパフォーマンスと付加価値化」

足立 真希（株式会社レニアス 開発設計 Group）

【概要】自動車の軽量化が進む中、ガラス代替材料として透明で軽量のポリカーボネートを使用した樹脂グレージングが注目されている。本講演では、樹脂グレージングに欠かせないハードコートのパフォーマンスや現状の規格などの基礎的内容から、その付加価値化技術について紹介する。

—16:45～ 総合討論、名刺交換 （17:15 終了予定）

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局 (名古屋駅前イノベーションハブ内)
TEL:052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL:052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所 : 〒450-0002

名古屋市中村区名駅4丁目4番38号
愛知県産業労働センター
(ウインクあいち) 15階



産総研コンソーシアム 名古屋工業技術協会 平成30年度特別講演会
「自動車関連技術講演会」
(平成31年2月18日)

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
連絡先	TEL	E-mail:	
住所			

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行いません。